

TOTO



自動水栓施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

この製品は光電センサー（別売）とセットでご使用いただく自動水栓です。取付けに当たっては光電センサー（TES13B型・TES14B型）の取付説明書と合わせてご覧ください。

安全のために必ずお守りください

施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお取付けください。この説明書では、機器を安全に正しくお取付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

警告

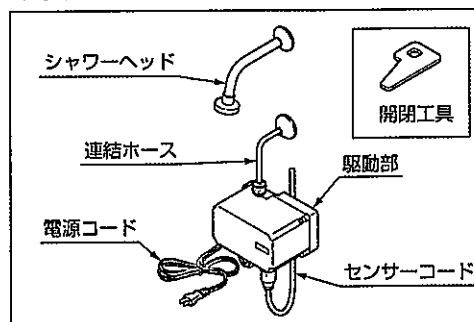
水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームでは設置、使用しないでください。（故障・感電の原因になります。）

注意

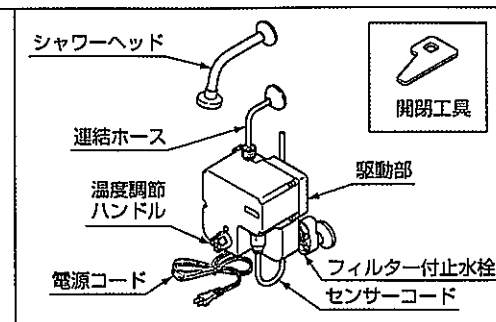
湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどすることがあります。

仕様

単水栓タイプ（TEL38）



サーモスタット混合栓タイプ（TEL58）



電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	常時2W（作動時5W）
電源コード	ビニルコード有効長0.85m
給水圧力	最低必要水圧 0.05Mpa以上
	最高水圧 0.75Mpa以下（単水栓タイプ） 0.60Mpa以下（サーモスタットタイプ）
給水部接続	15A
周囲使用温度範囲	0℃～55℃
周囲使用湿度範囲	90%RH以下

使用条件

サーモスタット混合栓タイプの場合、下記条件で使用してください。

- 使用水圧
給水・給湯圧力
最低必要圧力…0.05MPa
最高圧力…0.60MPa
給水圧力は給湯圧力より必ず高くするが、同圧になるようにしてください。
給水圧力が0.60MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.20MPa程度に減圧してください。
- 給湯温度は、60℃以上でご使用ください。
ただし、約50℃以上の湯は出ない様にしています。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 湯・水を逆配管しないでください。
なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするための最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

取付け前に

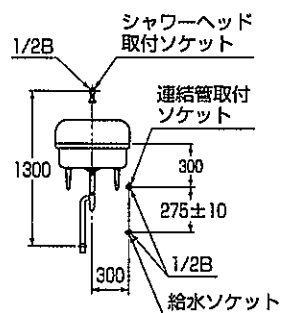
- 1.電気製品ですので駆動部に水をかけないようにご注意ください。また、浴室内では使用しないでください。
- 2.電源はAC100V (50/60Hz)、最高消費電力は5Wです。必ずこれに適した配線をしてください。また、コンセントは本体の取出し位置から0.8m以内の壁面に設けてください。
- 3.給水は上水道に接続してください。中水道及び異物を多く含む水には使用できません。

給水取出し位置

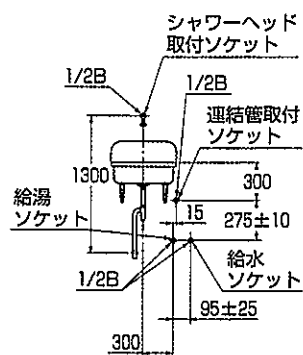
L24とセットする場合

L112とセットする場合

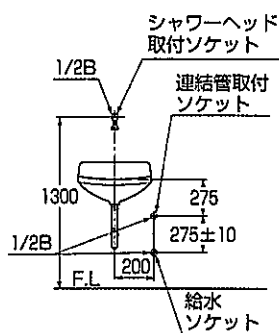
●単水栓タイプ



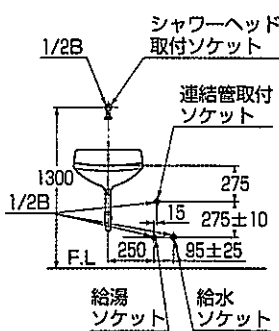
●サーモスタット混合栓タイプ



●単水栓タイプ



●サーモスタット混合栓タイプ

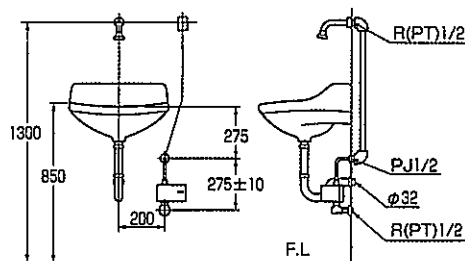


完成図 (例)

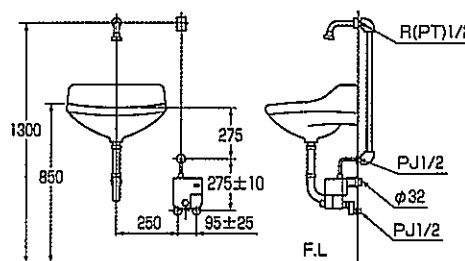
(注) 陶器の品番により取付寸法が異なります。詳細は次表を参考の上取付けてください。

手洗器 (L112) とのセット例

●単水栓タイプ



●サーモスタット混合栓タイプ



取付完了後の確認

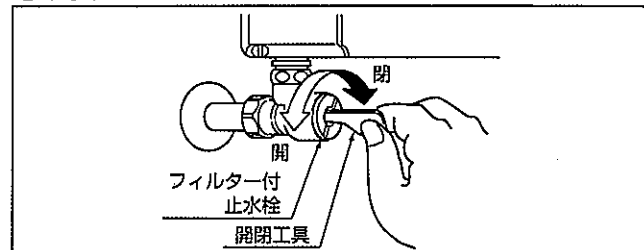
取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。

- 壁の光電センサーに手をかざすと水が出て、もう1度手をかざすと、約1~2秒遅れて水が止まることを確認してください。
- 万一、止水忘れがあっても約8分で自動的に止水します。

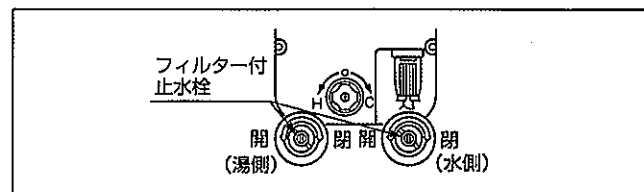
吐水量の調節

付属の開閉工具でフィルター付止水栓を回して、吐水量を調整してください。

①単水栓タイプ

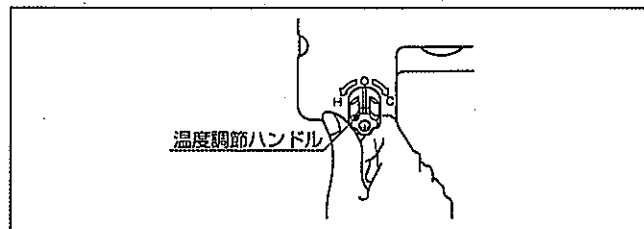


②サーモスタット混合栓タイプ



温度調節

サーモスタット混合栓タイプの場合、工場で適温(約38℃)に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって所定の吐水温度にならない場合があります。その場合、温度調節ハンドルを手で回して温度を調節してください。

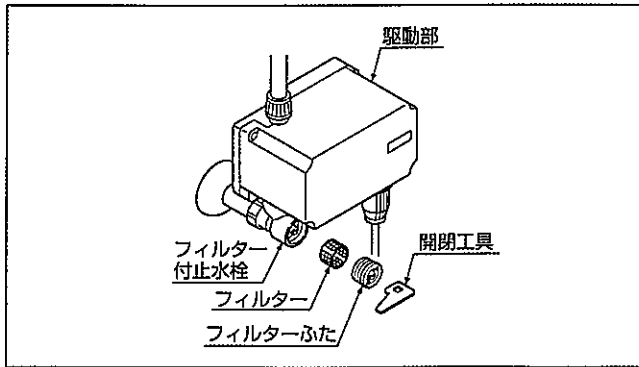


フィルターの掃除

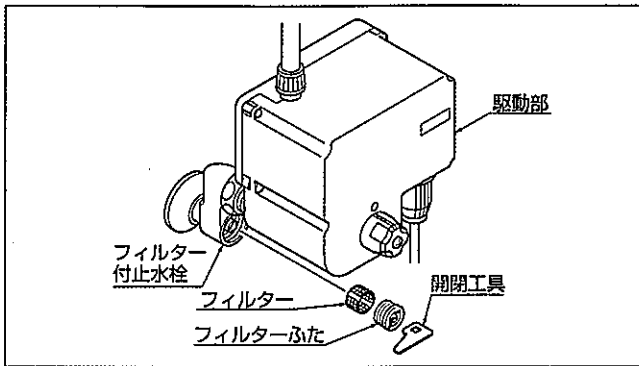
フィルターが詰まると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずフィルターを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

- フィルターを取外す時は、付属の開閉工具で止水栓を閉めた後、フィルターふたを外してください。

単水栓タイプの場合



サーモスタット混合栓タイプの場合



お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。なお、お手入れ方法は“取扱説明書”をご覧ください。

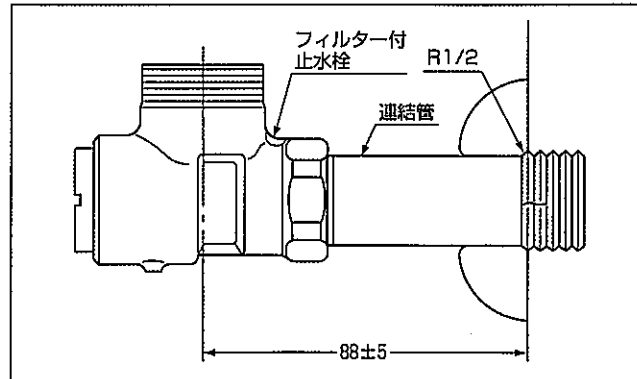
器具の取付け(単水栓)

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

1. 器具への給水の取出し位置を確認してください。

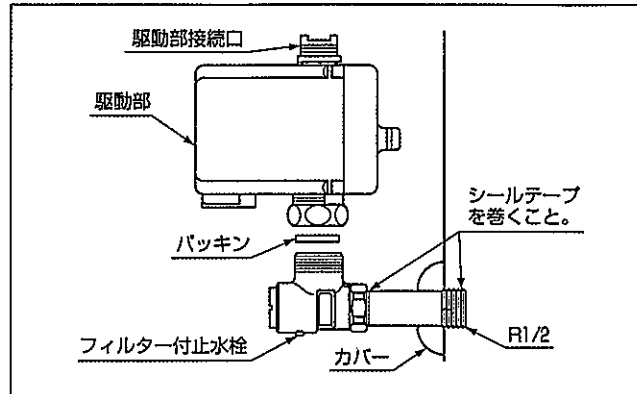
(注) 給水取出し位置の項を確認してください。

2. 自動水栓のフィルター付止水栓を取付けます。

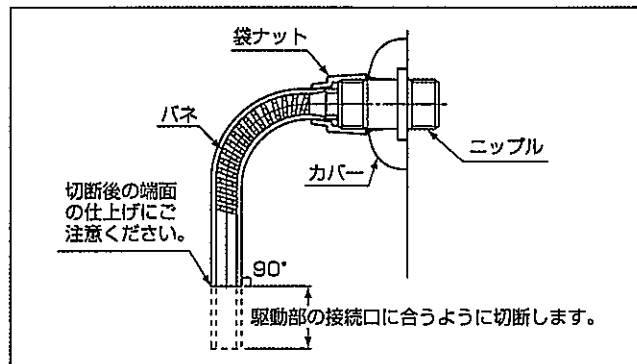


3. 駆動部の袋ナットにパッキンを取付け、駆動部を取付けてください。

(注) パッキンを必ず取付けてください。

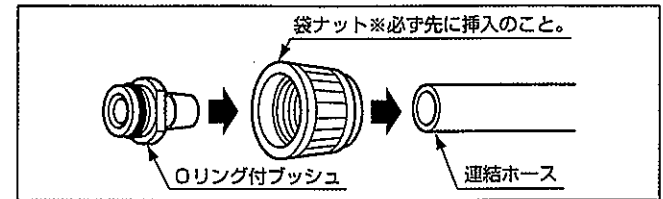


4. ニップルに仮締めしてある袋ナットを外し、連結ホースを付けたままニップルを配管にねじ込み、カバー・袋ナットを連結ホースを通して下図のように取付けてください。

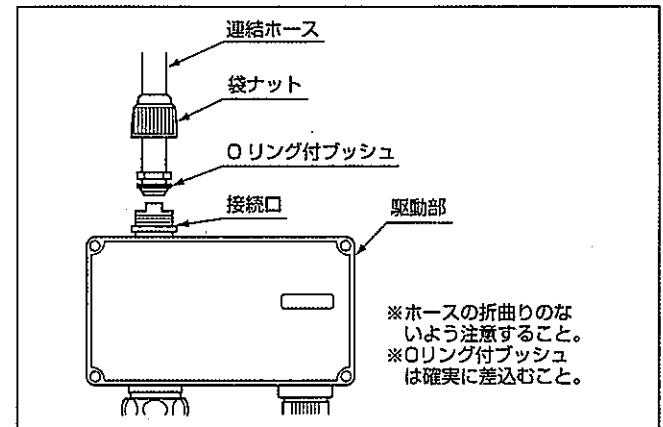


※連結ホースは先にニップル側へ接続した後、駆動部側へ接続してください。連結ホースを駆動部の接続口に合うように適当な長さに切断します。このときカッター等を用い、切断面は、垂直にかつ確実に行ってください。連結ホースの中に入っているバネは、ホースの変形防止に必要ですので、絶対に抜き取らないでください。水が出なくなるおそれがあります。

5. 連結ホースに端面から、袋ナットを通した後、Oリング付ブッシュを差込みます。



6. Oリング付ブッシュを駆動部の接続口に差込んだ後、袋ナットを締めます。Oリング付ブッシュが、確実に差込まれているか確認し、締め付けは手締めにて行ってください。

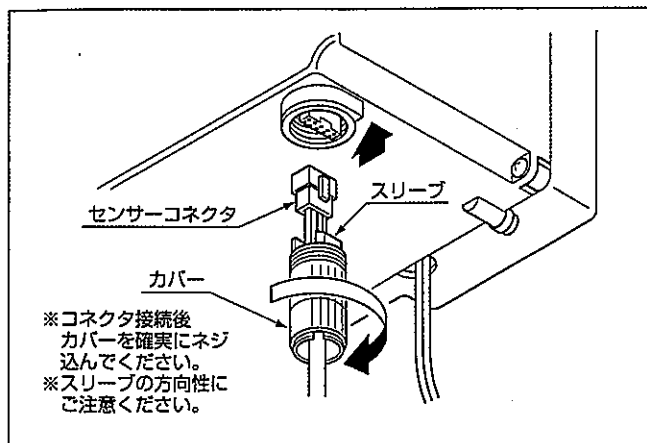


7. シャワーヘッドを取付けます。

8. センサーコネクタを接続します。

コネクタの接続は、ロックがかかるまで確実に差込んでください。またカバーの締め付けは、手締めにて確実に行ってください。

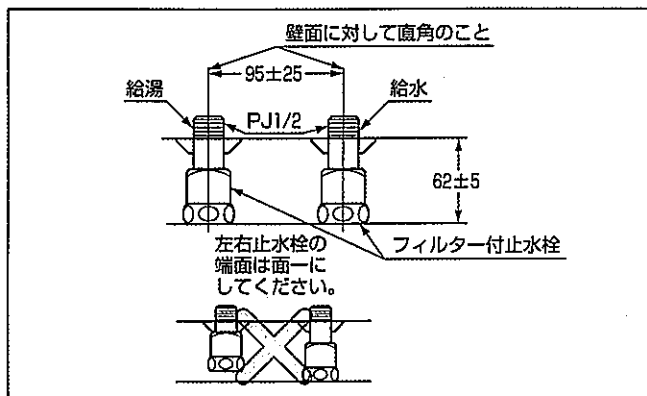
(注) スリーブがカバーの中に入っているか確認してください。



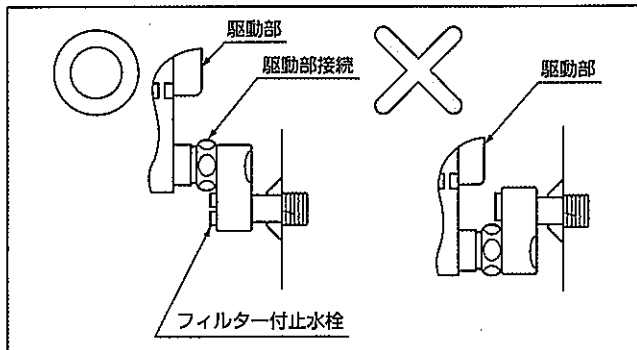
器具の取付け(サーモスタット混合栓)

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

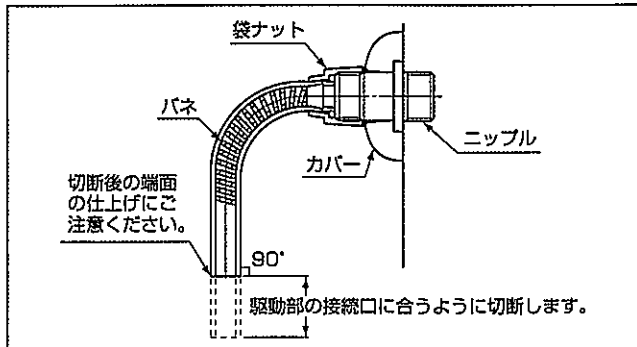
1. 器具への給水の取出し位置を確認してください。
(注) 給水取出し位置の項を確認してください。
2. 自動水栓のフィルター付止水栓を取付けます。



3. フィルター付止水栓の袋ナットにパッキンを取付け、駆動部を取付けてください。
(注) パッキンを必ず取付けてください。
※フィルター付止水栓は駆動部の接続部が上になるように取付けてください。下になるとフィルターの掃除及び止水栓の調節ができません。

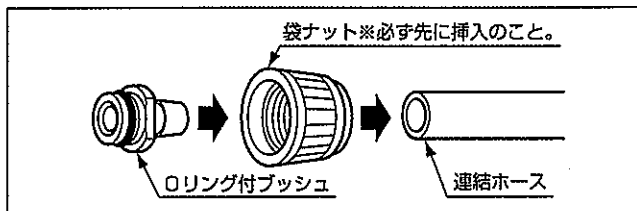


4. ニップルに仮締めしてある袋ナットを外し、連結ホースを付けたままニップルを配管にねじ込み、カバー・袋ナットを連結ホースを通して下図のように取付けてください。

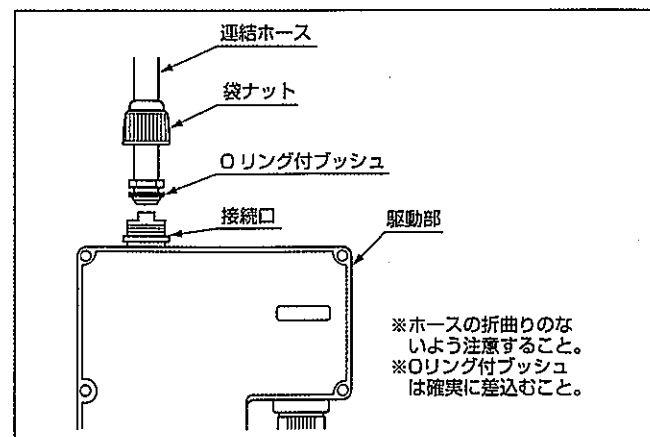


※連結ホースは先にニップル側へ接続した後、駆動部側へ接続してください。連結ホースを駆動部の接続口に合うように適当な長さに切断します。このときカッター等を用い、切断面は、垂直にかつ確実に行ってください。連結ホースの中に入っているパネは、ホースの変形防止に必要ですので、絶対に抜き取らないでください。水が出なくなるおそれがあります。

5. 連結ホースに端面から、袋ナットを通した後、Oリング付プッシュを差込みます。



6. Oリング付プッシュを駆動部の接続口に差込んだ後、袋ナットを締めます。Oリング付プッシュが、確実に差込まれているか確認し、締めは手締めにて行ってください。

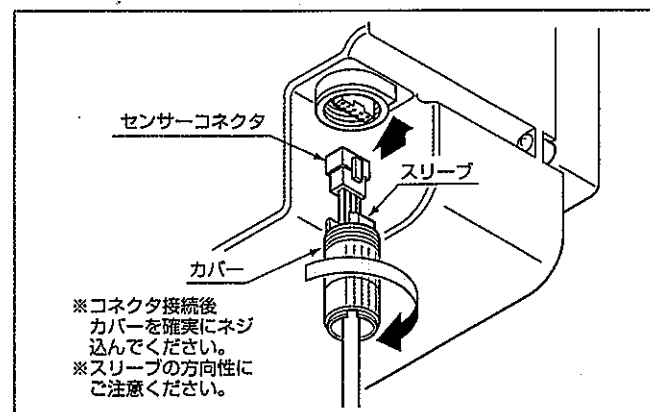


7. シャワーヘッドを取付けます。

8. センサーコネクタを接続します。

コネクタの接続は、ロックがかかるまで確実に差込んでください。またカバーの締めは、手締めにて確実に行ってください。

- (注) スリーブがカバーの中に入っているか確認してください。



電源コードをコンセントに差し込みます。

※取付けが完了したら、取付け完了後の確認の項を参照してください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。